

離婚届

令和元年9月0日届出

南三陸町長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	長印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

(1) 氏名	夫 しづがわ じろう 志津川 二郎	妻 しづがわ うみ 志津川 うみ
生年月日	昭和45年8月17日	昭和48年11月24日
住所	宮城県本吉郡南三陸町 志津川字十日田 200番地4号	宮城県本吉郡南三陸町 歌津字伊里前 300番地5号
世帯主の氏名	志津川 二郎	歌津 次夫
(2) 本籍	宮城県本吉郡南三陸町志津川字十日田 200番地4号	宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前 300番地5号
父母の氏名	夫の父 志津川 一郎 母 知子	妻の父 歌津 次夫 母 平美
(3) 離婚の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 協議離婚	<input type="checkbox"/> 審判
婚姻前の氏にもどる者の本籍	宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前 50番地10号	宮城県本吉郡南三陸町志津川字十日田 200番地4号
(5) 未成年の子の氏名	夫が親権を行う子 志津川 次人、志津川 和美	妻が親権を行う子
(6) 同居の期間	平成10年10月から平成18年8月まで	
(8) 別居する前の住所	宮城県本吉郡志津川字十日田 200番地4号	
(9) 別居する前の世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(10) 夫妻の職業	夫の職業	妻の職業
届出人署名押印	夫 志津川 二郎 (印)	妻 志津川 うみ (印)

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
 筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
 届書は、1通でさしつかえありません。
 この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本が必要ですから、あらかじめ用意してください。
 そのほかに必要なもの 調停離婚のとき→調停調書の謄本
 審判離婚のとき→審判書の謄本と確定証明書
 判決離婚のとき→判決書の謄本と確定証明書

証人 (協議離婚のときだけ必要です)	
署名押印	志津川 太郎 (印) 本吉 洋 (印)
生年月日	昭和50年10月1日 昭和47年8月15日
住所	宮城県本吉郡南三陸町 志津川字塩入 77番地 10番1号
本籍	宮城県本吉郡南三陸町 志津川字塩入 77番地 1丁目1番地

→ 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。養父母についても同じように書いてください。
には、あてはまるものにのようにしるしをつけてください。
 → 今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください。(この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。)
 → 同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。

協議離婚の場合成人の証人2名必要です。
 署名欄は自書して下さい。

◎署名は必ず本人が自署してください。
 ◎印は各自別々の印を押してください。
 ◎届出人の印をご持参ください。
 → 届出人署名は必ず自書して下さい。

→ 後日諸手続きがあります。連絡先のTELも記入して下さい。

住所を定めた年月日	連絡先
夫 年 月 日	電話() 番
妻 年 月 日	自宅・勤務先・呼出 方